

加齢性低栄養状態を導く血中因子の探索

1. 研究の対象

神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター老化機構研究部と国立長寿医療研究センター中枢性老化・睡眠制御研究プロジェクトチームでは、以下の人を対象とする医学系研究を実施しております。この研究は、国立長寿医療研究センターバイオバンクから分譲を受けた試料・情報を用いて解析を行うものです。国立長寿医療研究センターバイオバンクではお預かりした試料・情報の利用にかかる包括的同意をいただいているため、このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる試料提供者様のお一人ずつから直接ご同意をいただかずに実施することができますが、研究内容の情報を公開することが必要とされています。このお知らせをもって研究内容の情報公開とさせていただきますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

この研究に関するお問い合わせなどがございましたら、下記の「4. お問い合わせ先」までご連絡いただけますようお願いいたします。

2. 研究目的・方法

加齢の進行と共に生じる低栄養状態は、サルコペニア(加齢に伴って生じる骨格筋量と骨格筋力の低下)やフレイル(体重の減少、疲れやすさ、歩く速さや筋力の低下)の原因になることが示唆されています。しかしながら、加齢性低栄養状態の詳細な発症メカニズムについては、明らかにされておりません。近年、我々の研究結果から、加齢性低栄養状態誘導への関与が強く示唆されるシグナル分子が同定されました。そこで本研究は、血液中に存在する加齢性低栄養状態に関与する因子を同定する事を目的とし、各年代の方の血液サンプル中のシグナル分子の解析を行います。分与された血漿を受託検査機関で解析し、3. 研究に用いる試料・情報の種類に記載のあるパラメーターとの相関を解析します。

研究期間は倫理・利益相反委員会承認後～2022年3月31日になります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 40～80代の男性・女性の血漿。
- ② 既に解析済みの一般的な血清生化学的 Data(血糖値、血中脂質、ヘモグロビン)。
- ③ 被験者の年齢、性別、体重、身長。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究代表機関:

(国研)国立長寿医療研究センター 中枢性老化・睡眠制御研究プロジェクトチーム 佐藤亜希子(プロジェクトリーダー)、岡田純(研究補助員)

共同研究機関:

(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 老化機構研究部
鍋島陽一(センター長/部長)、川内健史(上席研究員)、安部千秋(研究員)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 老化機構研究部
安部千秋

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 2-2 先端医療センター内

電話番号: 078-303-3685

-----以上